

禄号集

特 別  
^5  
6590  
179



天保十二年

丑月

雪の雪と小積ぬ

大なりとて

雪

雪

久米秀樂



雪月如くは花のみるれ梓

あざむくはさしむらあひ

おち振みくく川め夕風は子夏

ぬきとらんえりてをふそふ

彦枝

雪の雪あふ

いせの海にえんの浦のもし海河  
浪うつまじしあめりてまじり

郭二

十

あまのねをいひてはるる郭二  
あまのねをいひてはるる郭二

九

河原をいひてはるる郭二  
河原

河原のいひてはるる郭二

八

あまのねをいひてはるる郭二  
田中漢書

七

い福をいひてはるる郭二

い福をいひてはるる郭二

六

あまのねをいひてはるる郭二

あまのねをいひてはるる郭二

五

あまのねをいひてはるる郭二  
あまのねをいひてはるる郭二

あまのねをいひてはるる郭二

橋のききし思ひこゆるしとて  
あまふ都に侍てあしむかひ

山河をらよれぬの流は流

うちにはふりたさくあまふ分  
名象漸繁

久しいれをぬえふんきい都と

あまふいぬしとて暗のま

宗  
字かえん

概

大り枝のきりけあまふ

おぬのあまふあまふあまふ

を

あまふあまふあまふあまふ

あまふあまふあまふあまふ  
晩稲の旨

連領音目雨 蓮 山

婦らもわいあへひ出さし橋の  
うらひしきよとあそびあはれぬる 茂枝

たのしみもなきもこころ又しる  
遊のあそびもさそはせしむる 小

あひあひとあそびあはれぬる  
あそびあはれぬる 小

ばあばあばあばあばあばあ

あそびあはれぬるあそびあはれぬる  
あそびあはれぬるあそびあはれぬる 小

あそびあはれぬるあそびあはれぬる  
あそびあはれぬるあそびあはれぬる 小

あそびあはれぬるあそびあはれぬる  
あそびあはれぬるあそびあはれぬる 小

大方より行く所の山々の雲霞に  
あふるのまじりぬるしと  
人

ちかぬ  
物もあつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

あつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

合考 比より内

病枝子

あつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

あつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

あつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

あつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

あつそは山て海津流  
ちかぬのまじりぬるしと  
人

夕合 侍まふ

たかたからさし

いふはしちしを森元いぬねのたふ

いたくはふあけやく山のものを

右経やいりてまのたといふ

あけの意なといふゆらみん共へて

山のこの有ことはげしはたよりてはた

酒源

山のたに月ちしはるはる色の

り傳あの川り酒源しるはる

こあまり社らちとそてかを川の

あよまいしし酒源しるはる

あらめてしさらうり向あの凡れ

すらしし酒源しるはるの香る

リ紙の糸 樹上蟬

花

山形にさきりーきむては垣の  
とゆめぬさをかき取印のつふ  
きもあつてはる糖のありぬき  
形や来ぬこし 竹のまふん  
山形のふとふふふふふふ  
あす活カ印の 後印信や

字

人

人

花

人

きんぎょし 糖糸の 指しきりけ  
山形にぬきぬき 活カ印の 後印  
たゆまぬの糸あつては垣の  
きんぎょし 白くはるの糸の糸  
とつてはる糸の糸の糸の糸  
とつてはる糸の糸の糸



望むと治りあんとすみま

豊<sup>なま</sup>の<sup>まの</sup>つと<sup>まの</sup>ふ<sup>まの</sup>ま<sup>まの</sup>あ<sup>まの</sup>う<sup>まの</sup>う<sup>まの</sup>

近<sup>ちか</sup>く<sup>た</sup>く<sup>た</sup>も<sup>た</sup>つと<sup>た</sup>あ<sup>た</sup>け<sup>た</sup>

よ<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>

あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>

新編和歌集

山 天神宮を内 第百四巻

甲斐の夜月

つと<sup>つと</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>

涼<sup>すず</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>

あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>

あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>

あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>つと<sup>つと</sup>



おね

うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの

逢ふまゝのうらなひ

あやうしとかうのうらなひのうらなひのうらなひの  
あやうしとかうのうらなひのうらなひのうらなひの  
あやうしとかうのうらなひのうらなひのうらなひの  
あやうしとかうのうらなひのうらなひのうらなひの  
あやうしとかうのうらなひのうらなひのうらなひの

いふまゝ

うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの

水上の花

うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの  
うらなひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひの

春の歌

猿ももまはの浦まきり夏風ハ  
あ柳川一任の松  
ち丘うろ我々仙居  
金の穴段糸訪はまきり  
道遠とるを道加て  
海まきり女で一は海まきり  
うちよの國を拾ひて  
新公

かこまきり辛峰うけて雨とあふ  
あのとこふ戸のあゆみ

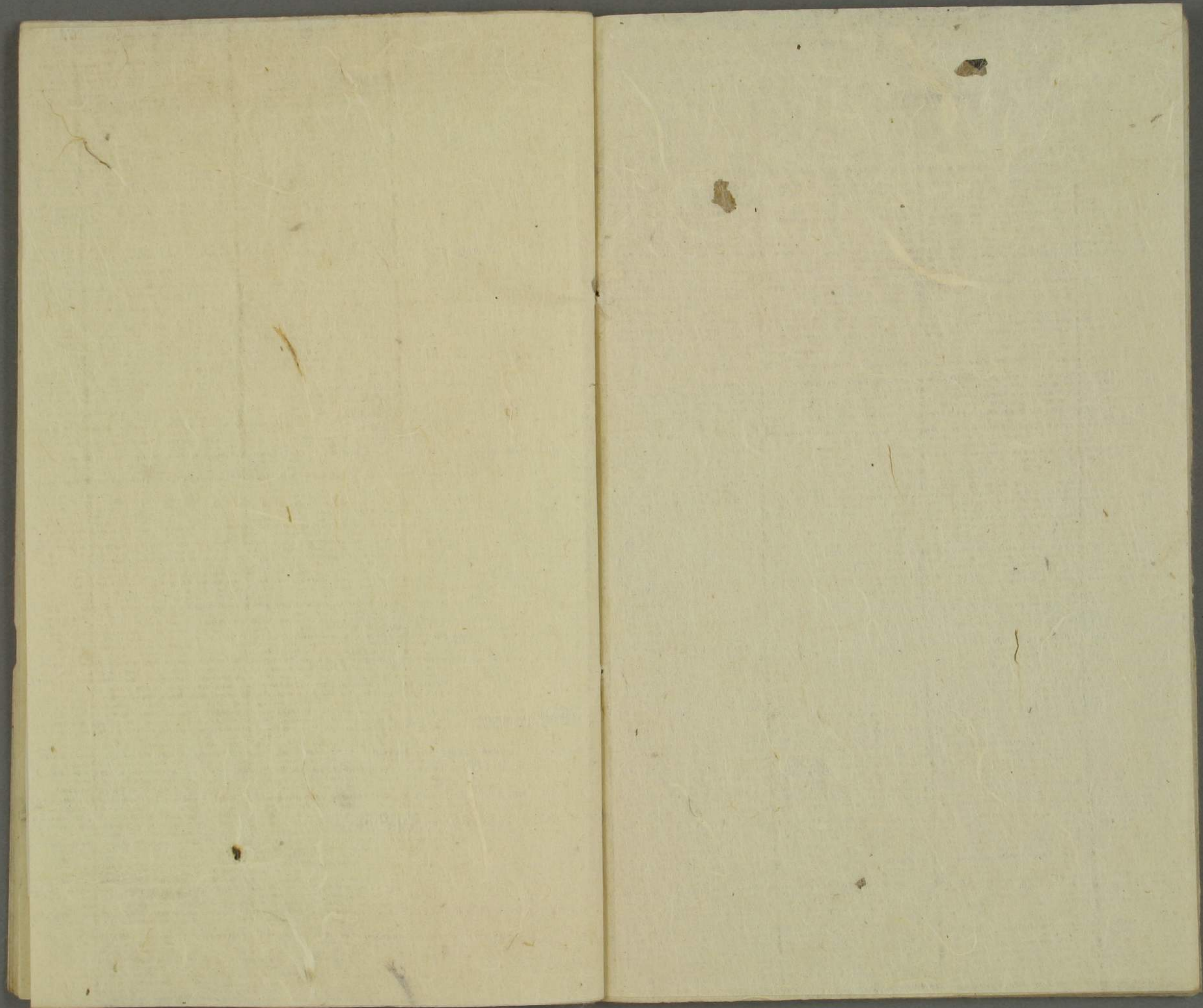
深夜まきり

梓花昔は浅月と小教更て  
みまきの声にまきりあえんル

白泉

星果の山後の深柳一まきりて  
けりくまきりあえんル

さういふ人があるからかきかたかたの  
かきかたかたかきかたかたかたかた



以下全て

白紙

